

おおつち 社協会報

2015

10月号

Shakyo-kaihou
No.67

【編集・発行】



社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会

主な記事

- 社協会費実績報告
- おおつち祭りで会いましょう！事業報告
- 住民支え合い活動助成金について
- 地域福祉活動推進計画の紹介

毎年、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動にご協力いただき、ありがとうございます。

今年も、赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まりました。赤い羽根共同募金は「自分のまちを良くするしくみ」です。大槌町の皆さまのあたたかい募金は、大槌町を良くするために、身近な「**あ**だんの**あ**らしの**あ**わせ活動」に使われます。

また、大きな災害が発生した時には、被災地の災害ボランティア活動や、復興支援活動のために、全国で集めた募金が活用される全国の助け合いのしくみです。

今年も赤い羽根共同募金運動が始まりました！



街頭募金（平成26年度）



吉里吉里小学校の皆さんから募金をいただきました。（平成26年度）

歳末たすけあい運動 運動期間：12月1日～31日



昨年、皆さまからお預かりした募金は、一人暮らし高齢者（75歳以上）、遺児孤児世帯、出生世帯へ配分いたしました。また、町内自治会・お茶っこの会へも配分を行い、年末年始に行われる、クリスマス会や新年会、みづき団子作りなどの地域の行事で活用していただきました。



みづき団子作りの様子
（小鉾中村仮設団地）
平成26年度

大槌町の皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします！

～この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。～

社協会費納入ありがとうございました

社会福祉協議会会費納入にあたり、住民の皆様から温かいご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。皆様からの会費は、暮らしの復興に関する事業や福祉のまちづくりに活用させていただきます。

会費合計：3,569世帯 1,796,350円

～ご寄附のお知らせ～

平成27年5月～27年8月までの受付分をご紹介します。ご支援頂きました皆様ありがとうございました。(敬称略)

【寄附金一覧】

●社会福祉法人豊年福祉会 …………… 22,710円 ●夢屋の仲間たち …………… 30,000円

【寄贈品一覧】

●水俣 進 …………… 手芸品 ●栃おとめの会 …………… お米
●鈴木 孝一 …………… さをり織り機 ●カリタス大槌ベース …………… コンパネ 28枚

赤い羽根共同募金 奉仕者感謝状が贈呈されました

岩手県共同募金会では、共同募金活動に貢献した個人・団体に対し、感謝状を贈呈しております。町内からは、永年にわたり街頭募金活動に携わっていただいている「大槌町赤十字奉仕団」様、「大槌町更生保護女性の会」様が贈呈を受けました。



大槌町赤十字奉仕団 堀合委員長



大槌町更生保護女性の会 臼澤代表

地域みまもり応援募金事業「おおつち祭りで会いましょう！」

この事業は、全国からいただいた想いのあるご寄附を活用して地域の課題に取り組む事業です。大槌町社会福祉協議会では、東日本大震災の影響により町を離れざるをえない避難者とふるさとのおおつちとの絆をつなぐ事業「おおつち祭りで会いましょう！」を開催しました。

平成27年9月20日(日)、21日(月)のおおつち祭りにあわせ開催し、大槌町から盛岡市、北上市、花巻市、遠野市等に避難している23名の方々にご参加いただきました。参加者は、他の地区の避難者と情報交換をしたり、久しぶりに帰るから友人と待ち合わせをしたり、祭りを見に来ていた懐かしい顔ぶれに会ったり、お墓参りをしたり、それぞれ有意義に時間を過ごされました。交流会では、大槌町長に来賓として参加いただき、参加者(避難者)の声に耳を傾けていただきました。また、大槌町都市整備課職員から復興状況等ご説明をいただきました。

2日目には、岩手県沿岸広域振興局復興推進課と協働で、復興の現場見学会を開催し、小槌トンネルや県立病院、公営住宅等を見学しました。参加者に現在の町の復興の様子を知っていただくことができたと感じております。

ふるさとを離れていても大槌を想って生活していらっしゃるということを実感しました。



祭りの様子



交流会の様子



復興の現場見学会の様子



赤い羽根共同募金って何に使われているの？

**あなたの募金を
あなたの町の
福祉に役立てます。**

平成26年度に集まった赤い羽根共同募金は、平成27年度の地域福祉活動事業費として岩手県共同募金会から地域に助成されます。

大槌町社会福祉協議会では、このような事業を実施しています。

事業名		金額	事業名		金額
高齢者福祉	お茶っこの会	90,000	地域福祉	社会福祉大会運営費	303,761
	まごころ宅急便	60,000		住民支え合いマップ作成事業	50,000
	大槌町老人クラブ連合会育成事業	231,000		地域福祉座談会	200,000
障がい者福祉	大槌町身体障害者福祉協議会育成事業	100,000		職員研修会	80,000
	大槌町言葉を育む親の会	12,000		社協会報発行	300,000
	大槌町手をつなぐ親の会	15,000		ホームページの運営	129,600
	障がい児をもつ親の会「ももの会」	40,000		大槌町民生委員児童委員協議会活動事業	80,000
児童・母子福祉	ボランティア協力校事業	200,000		合計	2,031,361
ボランティア育成	ボランティア研修会	60,000			
	サロン活動	60,000			
	ボランティア保険助成	20,000			

住民支え合い活動助成 平成27年度助成状況

岩手県共同募金会では、東日本大震災被災地の復興に向けて住民の交流を目的とした地域での活動に対し活動経費を助成する「住民支え合い活動助成」を実施しております。今年度（平成27年度）は、以下のとおり助成が決定し、地域で行われる様々な活動のため、有効に活用しています。

No.	団体名	事業名	決定額
1	大槌第9仮設襲岩団地	ふれあい花壇づくり交流事業	100,000
2	柵内仮設団地自治会	第4回夕涼み会	100,000
3	赤浜・赤浜第4仮設自治会	バーベキュー&花火夕涼み	74,000
4	大槌町赤浜地区お茶っこの会	赤浜地区お茶っこの会	100,000
5	小槌第8仮設団地自治会	団地住民納涼会事業	100,000
6	桜木町自治会	花いっぱい活動	77,000
7	沢山町内会	第2回夕涼み会（夏祭り）	100,000
8	古学校地区ふれあいドーム会	地域の皆様と交流会 バーベキュー開催	85,000
9	源水自治会	源水地区三世代交流事業	65,000
10	安渡町内会	安渡「こどもの夏休みすべしやる」	100,000
合計			901,000



大槌第9仮設襲岩団地 ふれあい花壇づくり交流事業

住民支え合い活動助成

岩手県共同募金会では、東日本大震災被災地の復興に向けて人のつながりを育み、コミュニティ再興を願い、県内の支え合い、助け合い活動を行う住民団体等を支援するため、10万円を上限として助成事業を実施しております。

- 対象者：県内5名以上で構成されている非営利団体（住民・ボランティア・NPO活動団体）活動ごとに、参加者一人当たり300円以上の参加費を得て活動する団体を助成
- 活動期間：応募書提出の翌日～平成28年3月31日
- 応募方法：市町村共同募金委員会が窓口となります。
- 活動内容：被災者が県内の避難先や移転先の仮設や復興住宅で、新たなコミュニティを形成するための、生活支援活動・サロン活動・季節の行事・住民交流事業等

お問い合わせ先 大槌町共同募金委員会（大槌町社会福祉協議会内） TEL 0193-41-1511 / FAX 0193-41-1512

役場と社協は

『大槌町地域福祉推進計画』づくりに 取り組んでいます！

現在、大槌町社会福祉協議会では、町民の誰もが「住み慣れた地域で安心して暮らしていくこと」を目指し、役場と連携して『大槌町地域福祉推進計画(平成28年度～平成32年度までの5カ年計画)』の策定に取り組んでいます。“地域福祉”とは、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者が互いに協力して、地域社会における福祉課題の解決に取り組むという考え方で、大槌町でもこの考え方にもとづき、地域福祉の推進を目指していきます。

そこで、広く町民の皆さまに福祉に関する現状や困っていること、要望等をお聞きして地域福祉推進計画に反映させ、より良い福祉を実現させるためにアンケート調査を行いました。

調査のテーマ	大槌町の地域福祉に関するアンケート調査
調査時期	平成27年9月7日(月)～9月18日(金)
調査方法	郵送調査
調査対象	町内に在住20歳以上の(無作為抽出による)町民1,500人
回答者(率)	603名(40.2%)



アンケートは現在集計中のため、くわしい結果については計画書に盛り込む形で報告させていただきます。今回は、皆さまから寄せられた貴重な声を一部ですがご紹介します。

【質問19】あなたが、お住いの地域や大槌町の福祉の充実について、ご意見やご感想をご記入ください。

- ・支援だけではいけない。自分達で理想の町づくりをして、自分達の町づくりをしていかなければならない。町や社協の人が大槌町を“こうしたい”という熱い思いを知りたい。(30代・女性)
- ・地域の行事等に参加したいが仕事や家事で手いっぱい。小さい子供の頃からの関わりが大事だと思う。(60代・女性)
- ・人は社会と共に生きているという根本的な部分を知ること、安心して社会の中で暮らしていける。「福祉」という教育の強化が必要だと思う。(40代・女性)
- ・仮設や災害公営住宅にばかり目が向くが、大槌町に暮らす誰もが同じように気にかけてもらえているという安心感が必要。家があってもなくても感じる不便さや不満は同じなのだから。(50代・女性)
- ・人口減少が進み高齢化率が上がっている中で何を充実させるべきか、優先順位の見極めが特に大事になる。(60代・女性)
- ・福祉を充実することで若い人たちに負担がかかるし、高齢者にとっても負担が増える。何でもかんでも福祉ではなく、自分でできることは自分で行うようにしたい。(70代・男性)
- ・ちょっとした支えがあるだけで、人は前を向くことができる。地域住民の支え合いが理想だが意識が薄い。互助から共助へとつながりを強化すべく取り組みを始動されたい。(60代・女性)

アンケートへのご協力に感謝いたします。皆様の声を心に留めて、大槌町の地域福祉を進めて参ります。

大槌町を
元気に

こづちちゃんが行く!!



皆さんこんにちは、おおつちお祭りも終わり、だんだんと寒い季節に入ります。季節の変わり目には体調管理に十分気を付けて下さいね。今回は、今年の4月に立ち上げを行った大槌町還暦野球チーム大槌倶楽部で監督をしている岩崎松生さんにインタビューを行いました。

立ち上げようと思ったきっかけは？

大槌町には還暦野球チームはありませんでしたので、60歳以上の野球好きの人達は、町外のチームに入ってプレーをしていました。震災前に町内でも還暦野球チームを作ろうとする動きがありましたが、震災で中断してしまいました。昨年の10月頃に、町外でプレーしていたメンバーが中心となり、町内の野球仲間等に声かけをし、今年の4月から大槌倶楽部を立ち上げることができました。

一番ゆるぐなだったごとは？

特にありません。笑
野球好きの集団ですので、たいへんなことはありません。チーム結成1年目で全国大会(福井県)出場、県大会3位という成績を残すことができました。週3回の朝練を行っていることの成果だと思います。また、チームワークがすごく良く、みんな野球を知っています。

これからの目標を教えてください

チームの目的である「野球を通じて会員の親睦を深め、健康の保持増進を図る」ことを忘れず活動していきたいです。また、地域活動についてもチームとして積極的に協力していきたい。

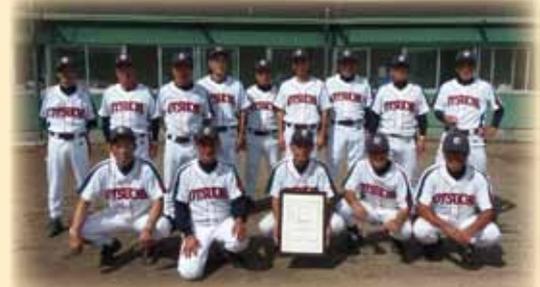
みなさんに伝えたいこと

野球の好きな人の参加を心待ちにしています。チーム発足時野球経験がない方もいましたが、今では試合に出るまで上達しました。初心者から経験者までみんなで野球を楽しみましょう！
※来年度の登録が平成27年12月までとなっているので、興味のある方は、早めの連絡をお願いします。

〈問い合わせ〉大槌町還暦野球クラブ 事務局：三浦文雄 ☎090-2607-3544



第17回全日本選抜還暦軟式野球大会



第33回岩手県還暦軟式野球選手権大会



どうして? 教えます! みんなの知恵袋 答えます!

Q これから寒い季節に入りますが、薬などが無い時代に風邪をひいたらどういった対応をしていたのですか? …… ペンネーム M.K さん

お答えします!
回答者:こづちちゃん
昔といっても江戸時代頃から風邪薬は飲まれていたと言われています。風邪のウィルスにもよりますが、一般的な風邪であれば、体を温めること、十分な睡眠と、栄養をとること、これが一番早い風邪の治し方!とされていました。現代とあまり変わらないようです。ちなみにですが風邪をひいてしまったときに効果的な飲み物を紹介します。

■卵酒

大きめの湯飲みに卵、砂糖を入れて混ぜ、日本酒を熱めに温めて、アルコール分を飛ばし、卵は固まらないように、混ぜながら、日本酒を注ぎます。

■にんにく湯

にんにくを皮ごと焼いて、すりつぶし、湯飲みに入れます。少量の味噌を加え、熱湯を注ぎます。

■干し皮みかん湯

干したみかんの皮を土瓶で煎じ、砂糖を少量入れます。

■くず湯

大きめの湯飲み片栗粉と砂糖を入れて、熱湯を少しずつ入れて、よくかき混ぜながら、とろみをつけます。少しずつ入れないと「だま」になるので注意!

いずれの飲み物も、体を温め、栄養効果があるものです。一度試してみてください



連絡先 大槌町社会福祉協議会
地域福祉係 ☎0193-41-1511
ホームページからも受け付けできます。
<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

お知らせ

日常生活自立支援事業のご案内

☆福祉サービスを利用する手続きがわからない。
 ☆いろんな書類があって、一人で判断できない。
 ☆金銭や通帳の管理に不安がある。
 高齢や認知症・知的障がい等のために、日常生活の判断に不安のある方は、お気軽にご相談ください。なお、相談は無料ですが、金銭管理等のお手前は有料です。

- 相談日 毎週月曜日～金曜日
- 時間 午前8時30分～午後5時30分
- 住所 釜石市大渡町3-15-26
(旧市民病院8階)
- 電話 ☎31-1331(直通)



たすけあい金庫貸付

- 内容 たすけあい金庫貸付は、生活費や医療費などが一時的に必要となった世帯にお貸しする制度です。申込みを希望される方は地区の民生委員、又は当協議会へご相談ください。
- 対象者 町内在住の低所得者
- 貸付額 1世帯1件の貸付で5万円以内
- 償還期間 10ヶ月以内 ※要相談



生活福祉資金貸付制度の紹介

生活福祉資金貸付制度とは、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

ご利用いただける世帯は？

- 【低所得世帯】・世帯の収入が一定基準以下の世帯
- 【障がい者世帯】・障がい者世帯（知的・身体・精神）※障がい・療育手帳の交付を受けている者の属する世帯となります。
- 【高齢者世帯】・65歳以上の高齢者の属する世帯（注）所得制限有り
- 【生活保護世帯】・生活保護を受けている世帯

貸付金の種類は？

- ① 総合支援資金……就職までの間の生活費
- ② 福祉資金……医療費用、一時的な生活費など
- ③ 教育支援資金……進学費用、就学支度金など
- ④ 不動産担保型生活資金……居住用不動産を担保に生活費の借入れを行います。
- ⑤ 生活復興支援資金……東日本大震災で被災した世帯に対する貸付

お問い合わせ

大槌町社会福祉協議会
 ☎0193-41-1511

詳しくは大槌町社会福祉協議会までご相談下さい。

お知らせ

大槌町社会福祉協議会では、自治会や団体などに物品（イベント用品、作業用、レク用品）の貸出を行っております。

- 例えば**
- イベント用品……テント、テーブル、パイプイス、綿あめ機、ポップコーン機 など
 - 作業用品……草刈り機、鎌、スコップ、一輪車 など
 - レク用品……スカットボール、ポケネット、輪投げセット など



地区でイベントなどを行う際はぜひご活用ください。

大槌町社協ホームページ情報

町民の皆様には社会福祉協議会として、よりよい情報をお届けできるようホームページを開設しています。パソコン、携帯電話等でご覧下さい。

携帯サイト

携帯電話でもサイトの一部を公開中です。



<http://www.otsuchi-shakyo.jp/>

編集後記

おあつち祭りで会いましょう！事業では、参加した方から「五年ぶりに祭りのはやしを聞いて懐かし涙が出た」「大槌の復興を案じていたが安心した」「大いに心こもった企画に感動した」という感想が聞かれ、皆さんの笑顔が印象的だった。
 復興の現場見学会では、日夜復興に尽力されている工事関係者から話を聞くことができた。以来、見慣れた風景がいつもと違って見えるようになった。感謝の気持ちをお忘れなさい。（八）